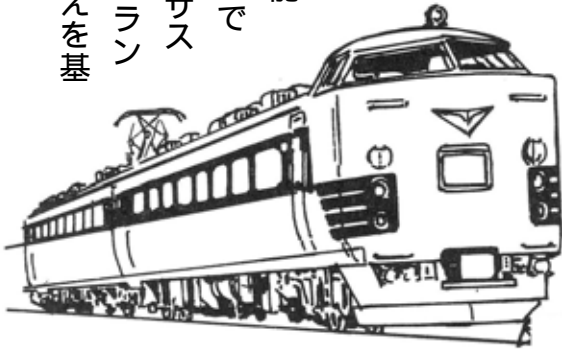


# サステイナブル・トレインへの提言

## 維持可能な鉄道へ 五県連絡会が提言

9月10日、新潟市のクロスパルにいがたで、「サステイナブル・トレイン」への提言の学習会が開かれました。主催は、「暮らしと地域を支える鉄道の充実をめざす新潟県連絡会」で、「提言」をまとめたのは、「北陸新幹線・並行在来線問題連絡会」（通称、「五県連絡会」）です。「提言」の正式な名称は、「北陸新幹線開業後の北陸本線・信越本線を展望して 暮らしと地域産業を支え、地球環境に役立つサステイナブル・トレインへの提言（第一次案）」といっています。

「サステイナブル・トレイン」。聞きなれない言葉です。「サステイナブル」というのは、「維持可能な」「再生可能な」とか「持続可能な」という意味です。次のようなサステイナブル・トランスポートの考えを基にしています。



失業者の少ない経済活力のある社会、経済繁栄を通じて社会的疎外を少なくする社会、そして、人々が健康を害することなく、次世代への資源を食いつぶすことなく、より質の高い生活を営むことができる社会に貢献する交通をサステイナブル・トランスポートという。

「今より不便になるのではなく、より便利、より安全で快適な並行在来線」をめざそう、そして「そのために何を、どうしなければならぬか」という提案案です。「100の原則」を提案しています。

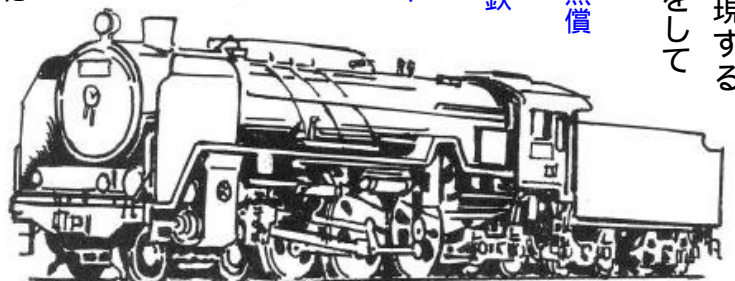
電車を維持する。  
 複線(信越本線の多くは単線)・電化を維持する。  
 列車本数を増やす。JRや私鉄との接続を便利にする。  
 運賃を高くしない。初乗り割高感を解消する。  
 駅のバリアフリー化と利便性の向上。駅員がいる駅、車掌がいる電車を運行する。(すべて正社員でなくても良い)  
 所要時間を短縮する。  
 安全を確保する。事故・災害に対応する国の制度・補助を確立する。  
 地元や地域の負担を軽減する。  
 経営基盤が強い経営主体をつくる。  
 駅とバス、コミュニティバスなど公共交通機関とシームレスな運行に取り組み。

の並行在来線で実現するために、4つの提言をしています。

- 1 JR鉄道資産は無償譲渡に
- 2 上下分離方式の鉄道へ
- 3 全国鉄道ネットワーク・サービスを維持し、貨物鉄道の動脈としての発展を
- 4 政府・与党申し合わせを見直し、国とJRの今日的役割を明確に

提言は最後に、「北陸信越各県が共同のテーブルに、そしてJRの参加を」求めています。

北陸信越運輸局が具体的な対策を取ることに。  
 「隣県協議を早急に本格化」すること。  
 国、JRが共同のテーブルに置くこと。  
 並行在来線を北陸信越地域の基幹鉄道として再構築すること。



日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

## 市政レポート

2007年9月16日 157  
 発行 杉本敏宏事務所  
 上越市東本町5丁目1番38号  
 TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832